

平成30年度 北区長マニフェスト

北区長 若杉 俊則

マニフェスト

北区が乗り越えるべき最大の課題は、人口減少、特に、転出など社会的要因による人口減少を止めることです。北区が未来に向けて引き続き発展するために、地域の皆さまと作り上げた「北区区ビジョンまちづくり計画」に基づき、北区の総力を上げて「北区に住み続けたい」「北区に戻ってきたい」「北区に住んでみたい」と思える魅力あるまちづくりを進めます。

具体的には、チャレンジしたい、子育てしながら、生活を楽しみながら、といったニーズに合った「働きたい仕事」の創出に向けて、ICT等の新技術を導入した次世代農業の推進、地域産業の活性化、コミュニティビジネスの支援等に取り組みます。また、子育てしやすい、安心して暮らせる、といった「暮らしやすさで選ばれるまち」となるため、地域課題の解決に向け自治会・町内会、地域コミュニティ協議会などと協働により取り組みます。さらに、豊かな自然、特産物、伝統文化、スポーツ活動、といった北区の魅力を「地域の誇り」とするための取組みを推進します。

この方針のもと、北区は今年度、次の3つの取組みを重点的に実施します。

1. 魅力ある農業の確立と地域産業活性化による雇用の拡大に取り組みます。
2. 暮らしやすさの向上に向けた、子育て支援、高齢者福祉、防災・防犯、生活環境などの地域課題に対する地域との協働の取組みを推進します。
3. 北区の魅力そして誇りを高める、自然、農産物、伝統文化、スポーツ活動など北区の特長を活かした取組みを推進します。

マニフェスト実現に向けた取組み

1 魅力ある農業の確立と地域産業活性化による雇用の拡大に取り組みます。	
現状 (課題)	<p>北区では、職業を理由とする転出などの社会的要因による人口減少が続いています。また、農業者の高齢化や後継者不足が課題として顕在化しています。</p> <p>これらの課題に対応するためには、地域の雇用拡大に向けた取組みが重要です。</p> <p>また、魅力ある農業を確立し、就農意欲のある後継者の確保・育成を行う必要があります。</p>
課題解決策	<p>目標 積極的に産業の振興を進め、雇用拡大につなげます。</p> <p>官民一体となった海岸保安林の保全活動を推進し、森林資源や環境を有効に利活用する方策を検討します。</p> <p>北区の基幹産業である農業分野では、特産物である「しるきーも」の商品開発や施設園芸のICT化によって、収益性の向上を図るとともに、新規就農希望者の支援を行うことで、地域経済の活性化に繋がります。</p> <p>新たな工業団地整備について、関係者と勉強会を進めます。</p>
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・保安林を活用したコミュニティビジネスの支援 ・「しるきーも」の品質向上によるブランド化と加工品利用による販路拡大 ・生産現場にICTを活用した新技術を導入 ・新規就農希望者の支援や農業法人への研修生受け入れ促進による雇用の創出 ・濁川地区の新たな工業団地整備に向けた勉強会の開催

	主な取組の指標達成状況	設定数	6	達成数	6
取組結果	<p>農地や住宅を飛砂から守る海辺の森について、住民と協働し下草刈りや樹木の管理などを実施しました。また、松ぼっくりなどの森林資源を加工、販売するコミュニティビジネスの組織設立を支援し、地域住民が主体となった新しい取り組みを始めました。</p> <p>「しるきーも」については、6品の商品開発がなされ笹山小学校とともにアルビレックス新潟北区民デーでPRしたほか、新潟伊勢丹の越品コーナーで販売しました。</p> <p>また、北区の施設園芸（トマト）にICTを導入するため、関係機関・団体からなる検討会議を立ち上げ、地域に普及するための方策を検討しました。</p> <p>新規就農希望者の就農相談については、17件と多くの相談があり、そのうち3名が認定新規就農者に認定されました。また、農業法人への研修生受け入れは1名あり、31年度の就農に向けて支援をしました。</p> <p>濁川地区の新たな工業団地整備に向け、開発の進捗状況や今後の取り組み内容・方針などについて、11月に勉強会を開催しました。</p>				
今後の方針	<p>海辺の森を美しい姿で後世に引き継ぐため、地元による自発的な活動に対し支援を継続していきます。</p> <p>「しるきーも」の販売・PRや施設園芸（トマト）のICT導入に向けた検討を引き続き進めます。</p> <p>新規就農希望者の就農相談について、積極的に進めるとともに、認定新規就農者に認定された3名に対しては、補助事業等をはじめとした各種支援を行います。</p> <p>工業団地整備については、今後も地元に対し、開発の進捗状況などについて情報提供を行い、勉強会の開催を継続していきます。</p>				

2 暮らしやすさの向上に向けた、子育て支援、高齢者福祉、防災・防犯、生活環境などの地域課題に対する地域との協働の取組みを推進します。	
現状（課題）	<p>近隣市区町村に対して人口流出超過となっています。結婚や住宅を決める段階で北区が「暮らしやすさで選ばれるまち」となるために、子育てや防災・防犯などの直面する諸課題を、それを抱えた住民と行政だけでの対応ではなく、これらを地域課題と捉えて、自治会・町内会、地域コミュニティ協議会、そして市民団体などとの協働により解決していく必要があります。</p>
課題解決策	<p>目標 地域との協働により、北区の魅力を高め、北区人口の社会増加数をプラスに転換する。</p> <p>北区の高齢化は市全体を上回る速度で進行しています。いつまでも健康で生きいきと暮らすことができるよう、健康講座の開催を通して高齢者自らが介護予防に取り組めるよう支援し、健康寿命の延伸につなげます。また、地域での子育て支援体制の推進のために、早通健康福祉会館での「子育て応援カフェ」を昨年度に引き続き開催することにより定着・継続実施を図り、次年度以降に他の地域への展開も視野に入れて、運営等のノウハウを蓄積します。さらに、子育て支援の環境を整え、子どもを安心して産み育てることができるまちづくりを目指すため、定期的な支援計画の検討により、妊娠期から出産後の切れ目ない子育て支援を実施します。</p> <p>特定健診では、引き続き未受診者の受診に向けた対策を継続実施しながら、生活習慣病予防講座の実施により健康寿命の延伸を目指します。また、認知症予防事業はもの忘れ検診を継続実施しながら、要経過観察者・要精密検査者のフォロー体制を強化するとともに、認知症を予防する取り組みも兼ねて、地域の高齢者が集まる場でのリーダー研修の開催や、サロン等に作業療法士等の専門職を派遣するなど、自ら介護予防に取り組むことができる高齢者を増やし、健康で暮らせるまちづくりを関係機関等と連携しながら推進します。</p>

	<p>自助・共助・公助の理念のもと、地域自主防災組織・地域コミュニティ協議会・市民団体・消防団・消防署・区役所などが、災害・犯罪・生活環境・生活交通など様々な地域課題に対し、それぞれの役割を再確認し、地域が一体となり連携した取り組みを実践します。</p>				
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">主な取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な生活交通の確保 ・生活環境の地域課題に対する地域との協働 ・地域の自主防災力の強化 ・防災拠点としての新庁舎整備 ・介護予防に関する健康講座の開催 ・世代間交流による子育ての支え合い ・妊娠期からの子育て支援体制の構築 ・健康寿命の延伸 ・認知症の予防 ・公園施設の点検及び防犯パトロールの実施 ・工事現場での安全管理の徹底 				
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">取組結果</p>	<p>主な取組の指標達成状況</p>	<p>設定数</p>	<p>20</p>	<p>達成数</p>	<p>15</p>
<p>公共交通について、区バスは収支率の減少を止められませんでした。デマンド交通については、地域団体や利用者への説明を行い、来年度より地域団体による運営に移行することになり、身近な生活交通を確保することができました。</p> <p>自治会・町内会、地域コミュニティ協議会、市民団体などに補助制度を丁寧に説明し、助言等の支援を行い、目標を上回る団体と地域課題解決に向け協議しました。</p> <p>生活環境については、地域との協働で行うボランティア清掃への支援について、未実施地域への広報に力を入れたことで目標を上回る成果を上げることができました。</p> <p>防犯の取組については、地域の関係団体・警察等と連携して不審者情報の共有・パトロールの強化を行うとともに、通学路の危険箇所マップの作成を行いました。</p> <p>自主防災力の強化については、10地区37避難所の現地で、地域住民と避難所運営ワークショップを実施するとともに、33の自主防災組織で地域住民約12,000人が参加した防災訓練を実施しました。</p> <p>また、区民の安心安全な生活を守る防災拠点としての機能を持つ新庁舎整備について、環境やバリアフリーなどに配慮しながら設計を進めました。</p> <p>介護予防に関する健康講座の開催については、54回開催し、1,075人の参加がありました。</p> <p>世代間交流による子育ての支え合いについては、「子育て応援カフェモデル事業」である「早通健康福祉会館ベビーカフェぴよぴよ」を11回開催し、保護者延べ32人、子ども延べ51人が参加しました。</p> <p>妊娠期からの子育て支援体制の構築については、特定妊婦検討会を開催し、マタニティナビゲーターとの連携により支援を行うとともに、訪問や電話により全件の状況把握を行いました。</p> <p>健康寿命の延伸を図るため、ミニドック型集団健診を受診率の低い地区にも出向き、4日間実施し、326人が受診しました。また、受診率の低い自治・町内会への個別訪問により、453人に受診勧奨や受診状況の確認を行いました。生活習慣病予防講座については、11回開催し、148人の参加がありました。</p> <p>認知症の予防のため、北区独自のもの忘れ検診を実施しました。軽度認知症やアルツハイマー型認知症など早期に発見し、適切な支援・サービスにつなげることができました。</p> <p>市民の安心・安全を心掛け公園施設や工事現場でのパトロールを実施しました。</p>					

今後の方針	<p>公共交通については、地域住民とともに持続可能な運行の在り方について検討し、運行内容の見直しに取り組む一方、効果的な広報により利用者拡大を図ります。</p> <p>地域課題解決に向け、地域住民による自主的・主体的な取り組みが促進されるよう、自治会・町内会などへの活動助成及び助言を行い、地域との協働の取組を推進します。</p> <p>生活環境については、ボランティア清掃支援実施済地域への定着を図るとともに、未実施地域への広報を進めます。</p> <p>防犯については、今後も地域の関係団体・警察等と協力して見守り活動・パトロールの強化を行い、犯罪発生の防止に努めていきます。</p> <p>地域防災力強化に向け、地域自主防災組織やコミュニティ協議会、学校等と連携をとりながら防災訓練などを実施するとともに、防災士のスキルアップに努めます。</p> <p>新庁舎整備に関しては、今年度で設計が完了し、次年度から工事が始まります。工事担当課とともに、安全かつ着実に整備を進めます。</p> <p>介護予防に関する健康講座については、継続して開催し、区民の介護予防と意識の啓発を図ります。</p> <p>「早通健康福祉会館ベビーカフェぴよぴよ」は、気軽に子どもと一緒に訪れることができる居場所として地域に定着してきました。地域住民主体による子育ての支え合いモデルとして、継続して開催します。</p> <p>妊娠期からの子育て支援については、引き続き支援体制の充実を図ります。</p> <p>健康寿命の延伸には、特定健診の受診が有効です。受診率の更なる向上を図ります。</p> <p>認知症の予防のため、もの忘れ検診を継続して実施します。また、認知症予防講座を実施し、区民の意識の啓発に努めます。</p> <p>公園や工事現場での事故防止に努め、安全管理の徹底を図りパトロールを実施していきます。</p>
--------------	---

3 北区の魅力そして誇りを高める、自然、農産品、伝統文化、スポーツ活動など北区の特長を活かした取組みを推進します。			
現状（課題）	<p>北区の 20～24 歳人口が県内・県外へ大幅な転出超過となっています。北区で生まれ育った人たちから「北区に住み続けたい」「北区に必ず戻ってきたい」と思ってもらうため、四季折々の北区の良さを見つけて体感するとともに、様々な活動に参加して地域の絆を深めることで、「ふるさと北区」に誇りを持ってもらうことが必要です。</p> <p>例えば、北区の特長である自然、農産品、文化・スポーツ活動を通じた取り組みは、区民一人ひとりがいきいきと輝く場を創出して、北区の一体感の醸成などに資するものです。これらの活動を活性化していくためには、より多くの区民が気軽に参加し、交流を広げられる環境づくりと継続性を確保していく取り組みが必要です。</p>		
課題解決策	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="background-color: #f4b084; vertical-align: middle; text-align: center;">目標</td> <td> <p>文化・スポーツ施設利用者数を増加させるとともに、北区の自然や農産品などの魅力を再発見し、より多くの人々に伝えるために、フェイスブックを活用した情報発信に努める。</p> <p>また、魅力をイベントの質向上にも活用し、参加者の増加を図る。</p> </td> </tr> </table> <p>地域産業活性化のため、テーマを設定し、テーマに沿った商品、コンテンツ開発やPRを行い、各個店等において使用することで新規誘客とイメージアップを図ります。</p> <p>音楽・演劇など文化・芸術活動による地域の活性化を目指し「文化・芸術のみやこ北区」の実現に向け、交流人口の拡大と区民が主体となる活動、郷土芸能の伝承への支援に取り組めます。</p> <p>スポーツを活用し、北区の一体感を高め、区民の体力維持・健康増進を図り、北区文化会館やビュー福島潟などの文化・芸術を担う拠点施設を活用し、北区の自然や特色を広く発信し、北区の賑わい創出を図ります。</p> <p>フェイスブックを使って新鮮でタイムリーな情報や北区の魅力などを区内外に発信し、多くの人々に北区の魅力を伝えます。</p>	目標	<p>文化・スポーツ施設利用者数を増加させるとともに、北区の自然や農産品などの魅力を再発見し、より多くの人々に伝えるために、フェイスブックを活用した情報発信に努める。</p> <p>また、魅力をイベントの質向上にも活用し、参加者の増加を図る。</p>
目標	<p>文化・スポーツ施設利用者数を増加させるとともに、北区の自然や農産品などの魅力を再発見し、より多くの人々に伝えるために、フェイスブックを活用した情報発信に努める。</p> <p>また、魅力をイベントの質向上にも活用し、参加者の増加を図る。</p>		

主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ごとにテーマを設定した商品、コンテンツ開発やPRを実施 ・スポーツ活動を通じた区民の一体感の醸成 ・文化・芸術活動による賑わい創出と地域の活性化 ・フェイスブックを活用した北区の取組みや魅力の情報発信
-------------	--

主な取組の指標達成状況	設定数	5	達成数	3
取組結果	<p>商業活性化に向け、松浜地域では「ござれや」をテーマに「こらっせ松浜市」の開催や「松浜橋」・「花火」などをデザインした傘を作り商店街で利用して頂きました。葛塚地区では「似顔絵」を活用したイベントの開催や、葛塚市場看板のリニューアルを地元高校生と協働して作成しました。</p> <p>スポーツによる区民の一体感醸成と健康増進を図るため、北区体育協会等と連携し競技別大会や気軽に参加できる体験会等を実施しました。また、文化・芸術活動による賑わいを創出するため、音楽フェスティバルや福島潟自然文化祭の開催などに指定管理者や地域と連携し取り組みました。</p> <p>郷土博物館と北区文化会館の共催で伝統芸術文化の祭典を開催しました。講演だけでなく神楽のお頭展示コーナーや横笛体験コーナーを設け、多角的にアピールし多くの方から楽しんでいただきました。</p> <p>北区の取組みや魅力の情報発信については、フェイスブックを活用しリアルタイムかつ効果的に情報発信し、フォロワーを増やしました。</p>			
今後の方針	<p>地域商業活性化促進への取り組みとしては、これまでの事業を継続し、松浜地区と葛塚地区におけるテーマに沿った様々な活動を支援していきます。</p> <p>スポーツ活動については、引き続き区体育協会等と連携し、より多くの区民が気軽にスポーツに親しみ、その効果を実感できるよう取り組みを進めます。</p> <p>文化・芸術活動については、北区文化会館や水の駅「ビュー福島潟」等と連携し、施設の特色やその魅力をわかりやすく発信することで来訪者の増加を図り、賑わいの創出と地域の活性化につなげるとともに、郷土芸能の伝承も支援していきます。</p> <p>「住みたくなるまち北区」となるよう、引き続き北区の取組みや魅力をリアルタイムかつ効果的に区内外に情報発信します。</p>			